

美咲町生涯学習センター！ ～みさきの持続可能な拓かれた未来へ～

中央
公民館



複合施設として生まれ変わった「生涯学習センター」

美咲町多世代交流拠点「みさキラリ」の美咲町物産センターに次ぐ第2弾として、令和6年6月に生涯学習センターがオープンしました。

この施設は図書館や公民館、保健センターなど複合施設として、町内外の多くの人が集い、つながり、学ぶ、新たな交流拠点として整備されました。2階の中央公民館では、生涯学習講座をはじめ、様々な団体が地域活性化のために活用されており、美咲町の魅力を発信する拠点として新たな町づくりにつながっています。

◎みさき郷土かるたリニューアル クラウドファンディング活用、すべて手作りで作成



リニューアルした「美咲郷土かるた」

「美咲郷土かるたを活かす会」では公民館を活用しながら、郷土を知り地域とのつながりを育む美咲町の魅力を絵札に込めた「美咲郷土かるた」づくりに取り組んできました。まずは自分の町を知ることから始めようと、地域に根差した風景や文化、歴史を楽しく伝えられるツールとして制作してきました。

同会は2016年町民有志で活動をスタート。取材、編集から

丁合、説明文作成、地図、箱作り
まですべて手作りで作業を進め、2年の歳月をかけて2018年に初版が完成しました。

美咲町合併20周年という節目の昨年、かるたをリニューアルするためクラウドファンディングで資金を募り、第2版を作成しました。再度美咲町の魅力を見つめ直し、未来の郷土へつなぐきっかけを作りたいと願っています。



丁合のようす

中央公民館職員紹介



御藤 博司
社会教育指導員

美咲町中央公民館に着任し、2年目を迎えています。生涯学習センターの2階では、地域コミュニティスペースや学習コーナーがあり、地域の方の集いの場や、小中高生の学習等に利用いただいています。

また、生涯学習講座では、人材バンク登録者の方を中心に、幅広い年齢層の課題とニーズに合った講座の開催を企画しています。住民主体の地域活動や文化活動、生涯学習の場として、住民の方が活用しやすい公民館となるように努めていきたいと思っています。

みさきの魅力を世界にもアピール 元祖 みさき桃太郎伝説！



元祖美咲桃太郎伝説の大阪万博での上演

美咲町打穴中・打穴下に伝えられている伝説は、昭和3年発行の「三保村誌」に掲載され、日本最古の「桃太郎伝説」として知られています。その「元祖美咲桃太郎伝説」を広めようと有志で活動する「美咲桃太郎の会」は、中央公民館でのイベントはもちろん、町内の学校、施設、地域行事等で、畳1枚ほどの大きさの大型ロール紙芝居を上演しています。

また同会はこの度岡山県が「おかやま桃太郎の夏休み」と題したステージイベントのひとつとして大阪・関西万博に出演しました。美咲町の桃太郎伝説を世界の人々にも発信しました。

◎偉人顕彰 美咲町が生んだ英文学者 『本田増次郎ものがたり』紙芝居で伝承

本田増次郎は美咲町打穴里出身の英語教育者で、ご存じ「フランダースの犬」を日本に紹介した人物として有名です。平成26年開催の美作国建国1300年記念事業として制作した「本田増次郎ものがたり」は、町内小中学校をはじめ美咲町立図書館、県内の公立図書館などで多くの方にご覧いただいています。そして更に広めるべく紙芝居を製作。地域や学校での普及啓発に取り組んでいます。



紙芝居「本田増次郎ものがたり」

◎拓かれた未来へこんな取り組みも… eスポーツで、新たなコミュニティ開拓！



みさき秋まつりで太鼓の達人体験

コンピューターゲームを使って対戦する「eスポーツ」の普及促進に向け、美咲町は令和7年10月、(一社)岡山県eスポーツ連合と包括連携協定を締結しました。地域の活性化や課題解決等を目的にしています。11月の「みさき秋まつり」では太鼓の達人を多くの方に体験してもらいました。

また公民館を活用し、世代や地域を超えた仲間との交流をねらい年齢や性別、体力の差に関わらず楽しむことができるボウリングやテニス競技等の「eスポーツ」も講座に取り入れる予定です。

※みさきの持続可能な未来へ向かって

美咲町の公民館は住民が主役となり、自らが地域課題を解決していく拠点です。どんな手法で地域の文化を伝承するのか、いかに地域の偉人顕彰を身近なものにするのか、「集まり」「学び」「発信する」センターとなっています。また、新たな分野へもチャレンジ!! “みさきの持続可能な未来”を見据えています。

